

# 転倒・転落による 死亡事例

## 1. はじめに

医療事故調査制度による報告件数は令和元年7月末までで1420件、1月平均31件弱です。医療事故調査・支援センターは、院内調査結果報告書の事例分析をして再発防止策の提言を出していますが、最近、転倒・転落による死亡事例の分析をふまえての提言が出されましたので、これを概観します。

## 2. 概要

転倒・転落による死亡事例は18例ですが、死因の内訳は頭部外傷が16例、窒息が2例で、頭部外傷による16例のうち発生場所がベッド周囲・病室内が13例でした。この13例のうち、今回の転倒・転落と頭部外傷との因果関係が明らかな11例について分析がなされています。

## 3. 11例の特徴

その特徴を挙げますと、70歳代以上が8例、過去に転倒・転落歴ありが6例、認知機能低下・せん妄等ありが7例、睡眠薬・向精神薬内服が8例、頻尿・夜間排泄行動ありが6例です。

## 4. 医療事故調査・支援センターの提言

医療事故調査・支援センターは再発防止に向け

て8つの提言をしていますが、これを、① リスク評価 ② 衝撃を和らげる工夫 ③ 転倒・転落後の対応に分けて見てみましょう。

### リスク評価

転倒・転落歴は重要なリスク要因です。また、認知機能低下・せん妄、向精神薬服用、頻尿・夜間排泄行動もリスク要因です。そうしたリスク要因ある患者への向精神薬投与は慎重にすると提言しています。また、入院・転棟等の環境変化、治療による状態変化があるときは注意が必要です。また、他職種による取り組みの必要性も提言されています。

### 衝撃を和らげる工夫

衝撃吸収マット、低床ベッド、保護帽等の活用が提言されています。

### 転倒・転落後の対応

異常所見があれば脳外科の対応を検討し、頭部打撲時は頭部CT撮影と神経学的所見を観察し、初回CTで頭蓋内出血例は数時間後に再度のCT撮影をするとの提言がなされています。



## 松本・山下綜合法律事務所

私達の事務所は、医療事件だけでなくその他の案件（相続、離婚、債務整理、刑事事件等）も取り扱っています。医療の現場は専門知識があるかないとは全く違いますが、法的な場面でもそうです。何か行動する前にちょっと相談するだけで違うことがあります。気軽にご相談ください。

千葉市中央区中央三丁目3番8号日進センタービル7階 電話：043-225-5242